

令和5年度 知立市の学校教育に関する保護者アンケート結果

◆調査の概要

- ・対 象 市内7小学校5年生・3中学校2年生の保護者
- ・時 期 令和5年12月～令和6年1月
- ・回 答 調査対象数1,353（小696・中657） 有効回答数599（小333・中266） 有効回答率44.3%

◆調査の結果(次のパターンで分けています) ※無回答数は、回答数より差し引いています。

大変満足

やや満足

少し不満

大変不満

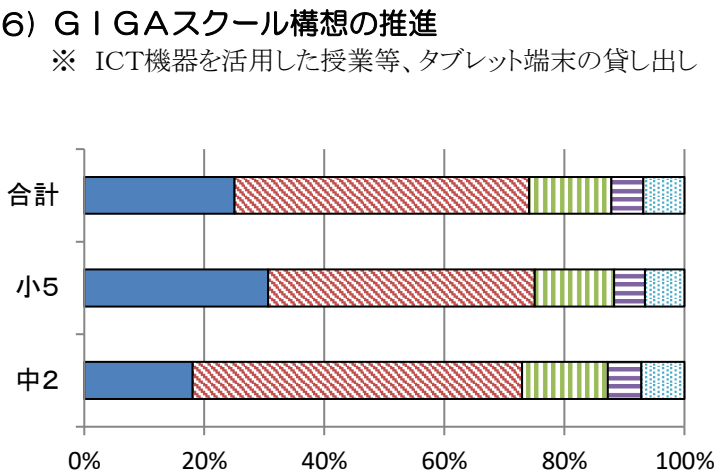
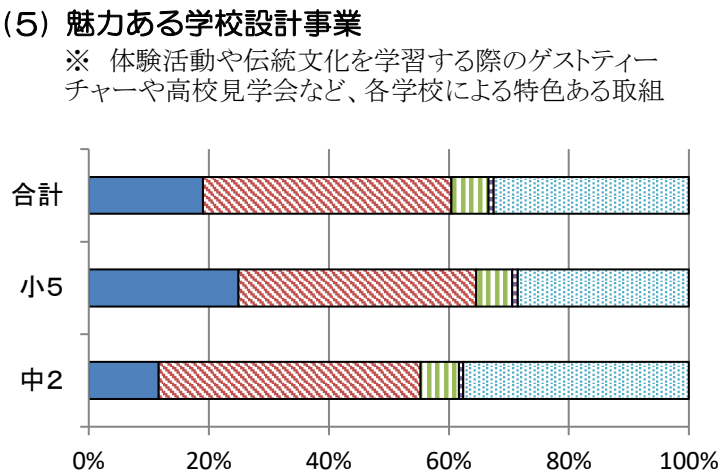
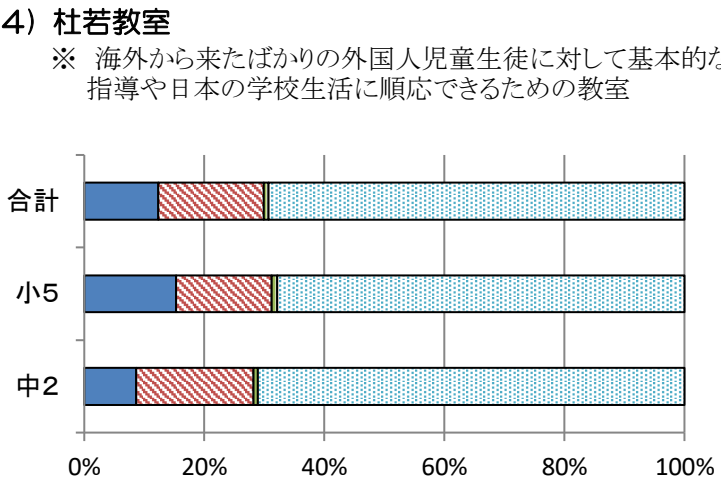
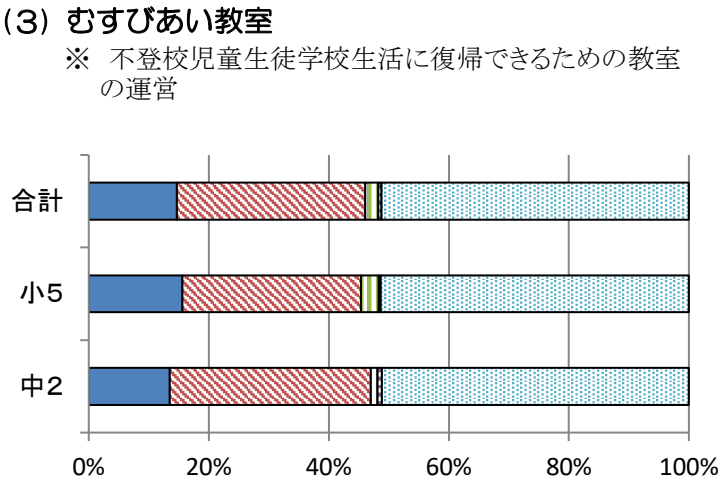
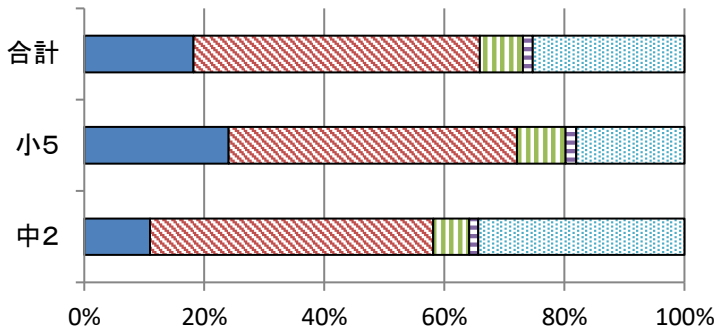
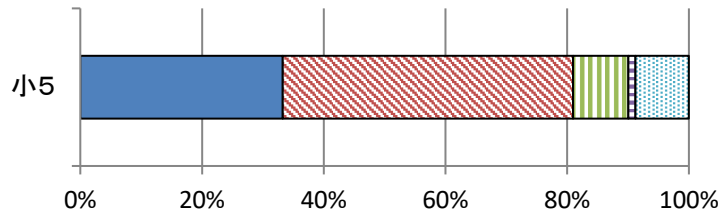
分からない

Q1. 知立市で取り組んでいる次の施策についてどの程度知っていますか(満足していますか)。

- (1) 小学校6年生までの35人以下学級の実施

※ 知立市独自に小学6年生で35人以下学級
- (2) 人的支援の実施

※ 「子どもサポート教員」、「心の相談員」、「発達障害児等支援補助員」、「英語活動・外国語における外国人講師」、「学校図書推進員」



◆「小学校における少人数学級の実施」、「子どもサポート教員や発達障害児等支援員の配置」など、知立市の人的配置に関する施策について、全体的に高めの評価でした。今後も、現在の取り組みを継続または拡充し、知立市の子どもたち一人一人に寄り添った教育活動や支援の実現をめざしていきます。

◆一方で、「むすびあい教室の設置」について「知らない」と答えた保護者が全体の約6割、「杜若教室の設置」について「知らない」と答えた保護者が全体の約7割を占めており、知立市の不登校児童生徒や外国籍児童生徒に対する支援があまり認知されていないことが明らかとなりました。今後、知立市の取り組みについてより分かりやすく発信していく必要があると考えます。

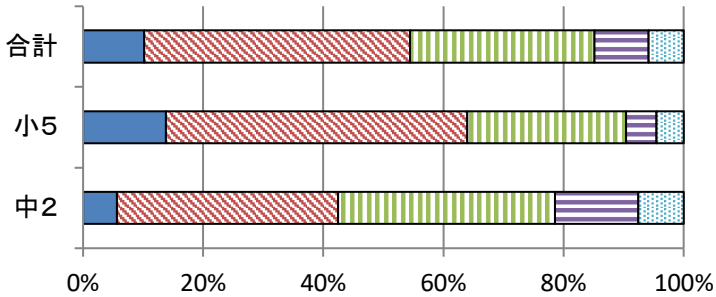
◆「GIGAスクール構想」については、2年前の調査に比べ、「大変満足」「やや満足」の割合が格段に増加しています。この2年間、タブレット端末を活用した教育活動が積極的に行われた成果だと思われます。今後、タブレット端末のさらなる有効活用について研究を進めていきます。

◆調査の結果(次のパターンで分けています) ※無回答数は、回答数より差し引いています。

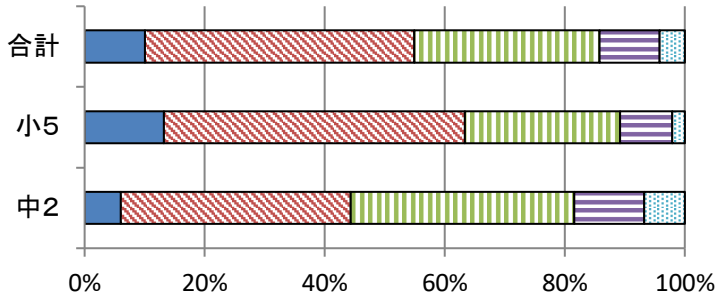


Q2. 知立市学校教育に関して、どの程度満足していますか。

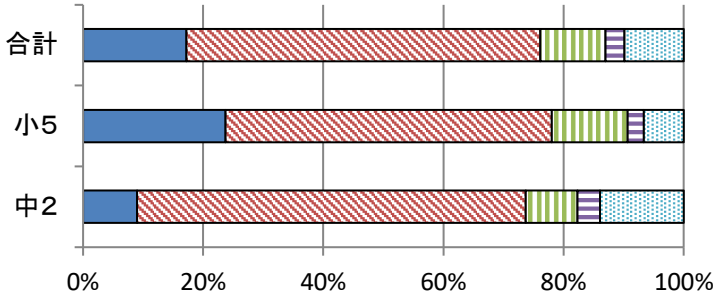
(1) 学力水準



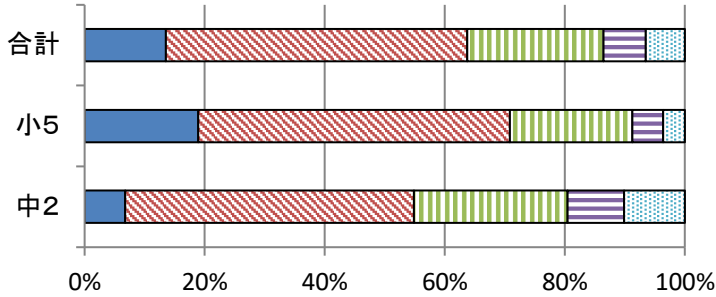
(2) 宿題・課題の内容、量



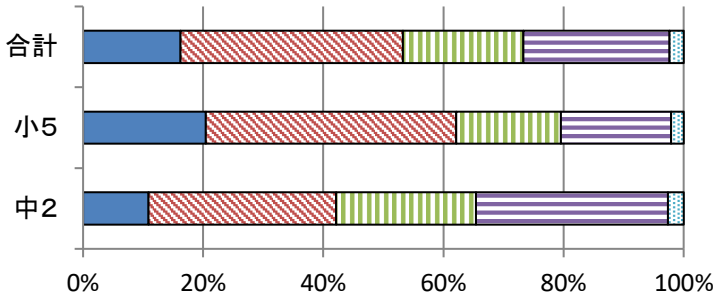
(3) 思いやりの心や豊かな心の育成、命の教育への取組



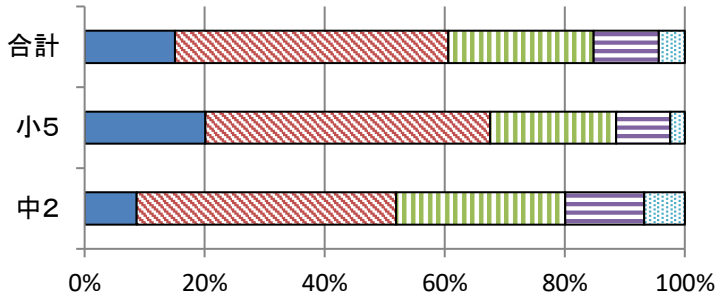
(4) 体力づくり・健康への取組



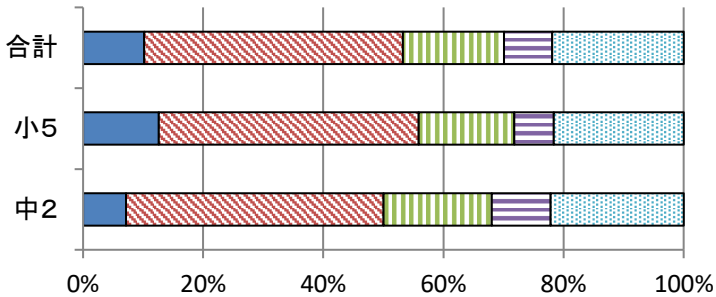
(5) 学校2学期制の実施



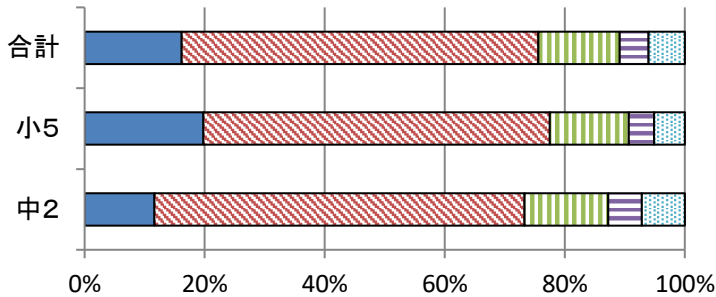
(6) 教員の資質・指導力



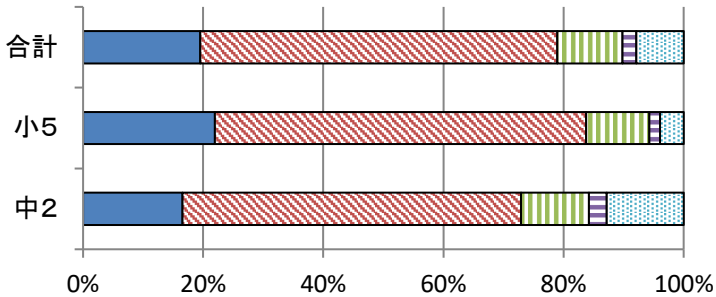
(7) いじめ・不登校対策、情報モラル指導



(8) 開かれた学校づくり



(9) 安心・安全な学校づくり



◆知立市の小中学校の教育活動に関し、「思いやりの心や豊かな心の育成、命の教育への取組」「安心・安全な学校づくり」について「大変満足」「やや満足」の回答が約7割ありました。今後も小中学校において、自分自身も、自分の周りの人も大切にできる子ども、自他の命を大切にできる子ども、自分で考えて行動できる子どもの育成を図るとともに、子どもたちが安心して学校生活を送ることができる学校づくりを進めていきます。

◆自由記述において、保護者の皆様から様々なご意見をいただきました。それらについても各小中学校で確実に情報共有し、総合的に判断しながら今後の学校づくりに生かしていきます。引き続き、保護者の皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。